

STEP 1 今月の家計情報を記入します。

① 今月の収入 万円

世帯の月収から、一時金（賞与）、税金・社会保険料を差し引いてください

② 今月の支出 万円

住宅ローンの返済額を含めます。税金・社会保険料は含めなくてください

③ 資産残高 万円

不動産（自宅は除く）も含めてください。不動産は市場価値で記入してください

④ ローン残高 万円

⑤ 世帯人数（本人含む） 人

家計を同じくする世帯の合計人数です

今月の家計情報（①～⑤）をもとに、電卓で評価項目の値を算出します。

● 資産残高とローン残高の割合

$$\frac{\text{③ 万円}}{\text{③ 万円} + \text{④ 万円}} \times 100 = \text{A } \text{ \%}$$

● 月間収入と月間貯蓄の割合

$$\frac{\text{② 万円}}{\text{① 万円}} \times 100 = \text{B } \text{ \%}$$

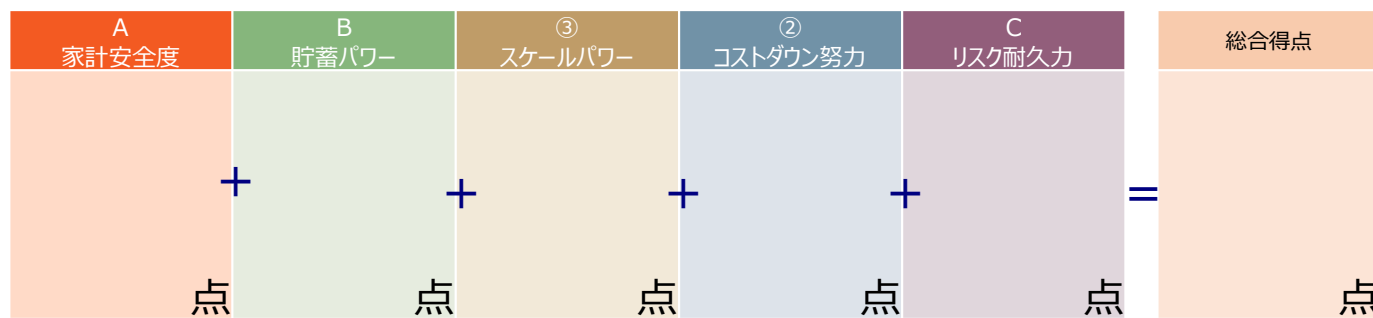
● 家族1人当たりの資産

$$\frac{\text{③ 万円}}{\text{⑤ 人}} = \text{C } \text{ 万円/人}$$

STEP 2 5項目を次のシートに照らして得点を算出します。

得点	A 家計安全度	B 貯蓄パワー	③ スケールパワー	② コストダウン努力	C リスク耐久力
0点	3%未満	▲1%未満	0万円	102万円以上	0万円～
1点	3%～	▲1%～	16万円～	87万円～	13万円～
2点	8%～	1%～	21万円～	75万円～	16万円～
3点	13%～	4%～	29万円～	64万円～	20万円～
4点	18%～	6%～	38万円～	55万円～	26万円～
5点	23%～	9%～	51万円～	47万円～	34万円～
6点	28%～	11%～	69万円～	40万円～	43万円～
7点	33%～	14%～	92万円～	35万円～	56万円～
8点	38%～	16%～	124万円～	30万円～	71万円～
9点	43%～	19%～	166万円～	25万円～	92万円～
10点	48%～	22%～	223万円～	22万円～	118万円～
11点	53%～	24%～	300万円～	19万円～	153万円～
12点	58%～	27%～	403万円～	16万円～	196万円～
13点	63%～	29%～	542万円～	14万円～	253万円～
14点	68%～	32%～	728万円～	12万円～	326万円～
15点	73%～	34%～	978万円～	10万円～	420万円～
16点	78%～	37%～	1,315万円～	9万円～	541万円～
17点	83%～	39%～	1,768万円～	8万円～	697万円～
18点	88%～	42%～	2,376万円～	7万円～	899万円～
19点	93%～	44%～	3,195万円～	6万円～	1,158万円～
20点	98%～	47%～	4,294万円～	6万円未満	1,492万円～

STEP 3 5項目の得点を足し合わせると総合得点が得られます。5項目の得点をダイヤモンドチャート、総合得点を家計の格付けにマッピングしましょう。



資産残高とローン残高の割合を評価します。負債が少ないほど評価が上がり、負債がない場合は20点になります。

月間収入と月間貯蓄の割合を評価します。貯蓄割合が高いほど評価が上がり、貯蓄割合が月間収入のおよそ21%（標準世帯）の場合に10点が得られるように調整されています。

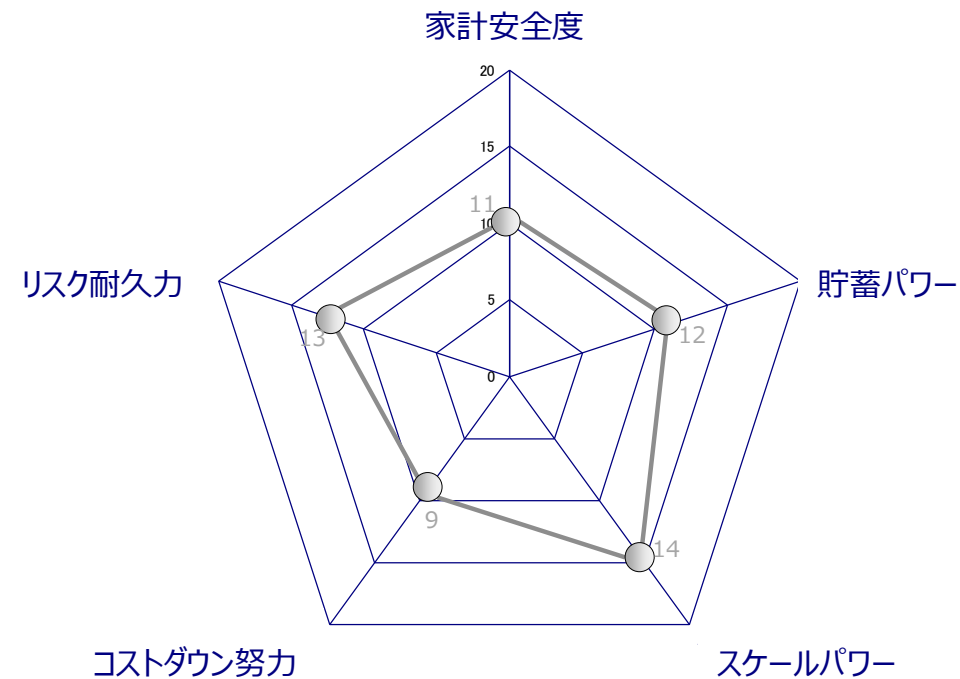
資産残高の絶対額を評価します。資産残高が大きいほど評価が上がり、標準世帯では12～16点が得られるように調整されています。

月間支出の絶対額を評価します。月間支出が少ないほど評価が上がり、標準世帯では6～14点が得られるように調整されています。

資産残高÷家族人数の絶対額を評価します。資産残高が1,000万円の場合でも、家族が1人の家庭と4人の家庭では前者のほうが経済的に安定しているように、スケールパワーが同じ場合は家族人数が少ない家庭ほど評価が高くなります。

リスク耐久力は一人あたりの総資産に相当します。

家計の格付けの判定に使用します。



総合得点	家計の格付け
98点～	Aaa
93点～	Aa1
88点～	Aa2
83点～	Aa3
79点～	A1
74点～	A2
69点～	A3
64点～	Baa1
59点～	Baa2
55点～	Baa3
50点～	Ba1
45点～	Ba2
40点～	Ba3
0点～	Ccc

生活経済研究所[®]長野の家計格付け調査より作成